

沖縄県ドクターバンクからのお知らせ

常勤・非常勤での勤務先を探している、ベテランの技を活かしスポット勤務で働きたいとお考えの先生方、または産業医として勤務できる事業所をお探しの皆様！沖縄県ドクターバンクに登録してみませんか？当バンクでは多くの求人情報の中から、皆様のご希望に合う医療機関をご紹介します。

☆下記の登録票に必要事項をご記入の上、沖縄県医師会事務局 業務1課まで、FAXにてお申し込みください。

FAX 番号:098-888-0089

沖縄県ドクターバンク登録票 (医師用)

*項目は必須

受付登録日： 年 月 日 受付番号：

ふりがな *氏 名			*生年月日	(西暦) 年 月 日生
*住 所	〒 -			
*連 絡 先	電話(自宅または携帯)：			
	E-mail：			
*医籍登録日	年 月 日登録	保険医登録番号	医 号	
*医籍番号	第 号	*専門診療科		
資 格	専門医資格	その他の資格		
*現在の状況	①就業中 ②休職中(産休・育休・病休) ③離職中 ④その他：			
現在の勤務先				
希望 条件	就 業 形 態	①常勤 ②非常勤(頻度 回/月程度) ③その他：		
	希望診療科			
	施 設 種 別	①病院 ②診療所 ③その他：		
	希 望 地 域	第1希望： ☐ 那覇 ☐ 南部 ☐ 中部 ☐ 北部 ☐ 離島 第2希望： ☐ 那覇 ☐ 南部 ☐ 中部 ☐ 北部 ☐ 離島		
	勤務希望時期	①今すぐ ②令和 年 月頃から ③未定		
	勤 務 時 間	勤務可能な曜日： 月・火・水・木・金・土・日 勤務可能な時間帯： 時 分 ~ 時 分		
	当 直 勤 務	①できる ②できない		
	希望業務内容	①病棟 ②外来 ③健診 ④パート ⑤臨時 ⑥産業医		
	給 与	常勤務の場合	月給：	以上
		非常勤の場合	日給：	以上 月給： 以上
		臨時の場合	時給：	以上
	保 育 所	①必要 ②必要なし		
	再就業のための再研修	①必要 ②必要なし		
	その他希望			

*氏名、住所等の個人が特定される情報につきましては、個人情報保護関連法令に則り開示・公表また無断流用は一切いたしません。

《提出・問合先》
〒901-1105 南風原町字新川218-9
沖縄県医師会事務局
業務1課 ドクターバンク担当
TEL.098-888-0087 / FAX.098-888-0089

若い友への手紙



城間医院 城間 政州

東北に住んでいる友人がいる。昔、同じ大学で学んだ仲間だ。互いに年賀や暑中見舞いのハガキを気ままに断続的にやり取りしていたが、この数年向うからのハガキや返事がなくなった。よくあることで、こんな時次の年からはハガキを出さないことになる。それで二人の間のつながりは絶えて行く。少し寂しいがこれが世の常かも。こんな風につながりが絶えていった学友は沢山いる。

しかし、先日その友人の息子さんという人から封筒入りの長い手紙が届いた。この人は40才前の一人っ子で、10年来うつ病を患い、療養、通院治療を受けているとのこと。手紙には、父親は今年1月脳出血で入院し、今は施設にいて、時々介護に通っている。話も通じなくなっている。母親は数年前より認知症を患い、家で介護をしながら一緒に暮らしているとのことが書かれている。それで、こちらはそれに対して以下の手紙をしたためた。

前略、ご免下さい。お手紙ありがとうございます。紙面拝見しました。

お父様、お母様のことを知って、大変びっくりしました。お父様は快活で面倒見のよい人でした。あのお父様がと思うととても残念でなりません。

あなた自身、療養の身でありながら、ご両親の介護をなさっていることに、改めてあなたに厚い敬意を感じ、そしてご苦労をお察します。

ご存じの通り、現代は高齢化が進み家族の形も変わってきて、お互いを支え合う力が弱まっているのが当たり前になってきています。

それで国は曲りなりにも色々と支援やサービス等を用意しています。私達住民は各々自分の困ったことに対して、支援やサービス等を受けるのが当然の権利として保証されています。このことはあなたも十分にご存じのことと思います。

しかし私達住民の側はともすると『これ位のこと』として自分の苦しみや負担を過少評価して我慢したり、或いは外聞を気にして、役所や相談窓口足に足を運んで自分の窮状をうったえることを遠慮してしまうことがよくあります。この際遠慮や見落しは禁物です。主治医や関係スタッフ、ケアマネージャー等と気軽に何でも相談できることが大切だと思います。医療側やお役所等からは患者さんの細かい内情や困っているものが見えにくいものです。こちら患者さんの側から積極的にお話することで、向うも支援やサービスがやりやすくなり、スムーズに行って、介護支援がよりよい方向に進むものです。

私も表記の通り、外来クリニックをあずかっている者ですから、もしよろしかったらどうぞお気軽にお電話を下さい。むずかしいこと困ったことをご一緒に考えていきましょう、待っています。

それから、今一番大事なことは、あなたご自身の健康のことだと思います。どうかご無理をなさらずに、頑張り過ぎないで日々を送って下さい。

ご両親の介護、サービスにはショートステイ、一時入所等の施設もあります。恐らくすでに利用なさっているかも知れませんが。

大事なことは、何よりもあなたが少しでもゆとりをもって毎日を送ることです。日々の中に少し休養を入れて、あなたの気持ちや体力や時間に精一杯にならないで、余裕を持って下さい。介護する人に疲れがたまったり、ゆとりを失うことがあると、介護が不安定なものになったり、いい加減なものになって、介護する人される人が互いにつらい立場におち入ることがあります。そのことを私達は気を付けなければなりません。私共のクリニックも常々そのことが話題になります。長期に介護を続けている人には、月に一週間や5日間位の休養やフリーな時間、ご自分の趣味的な活動の時間をとるようにすすめています。ゆっくり充電してもらっています。

どうかあなたご自身も大事になさって下さい。あなたのご両親がもしあなたの日々の生活をご覧になった時、『なる程、何とかうまくやるとるわい』と喜び、安心するようなそんな生活をなさることを望みます。

さぞ、ご苦勞の多い日々かも知れませんが、その中で、ちょっぴりでも、一時でも喜びを見い出せるような日々を送って下さい。その喜びが生きていく上で力になってくれます。

でも、考えるに、人が自分の両親の介護や世話をするというのは、人として根源的な行為で、そこに私は高貴なものを感じます。

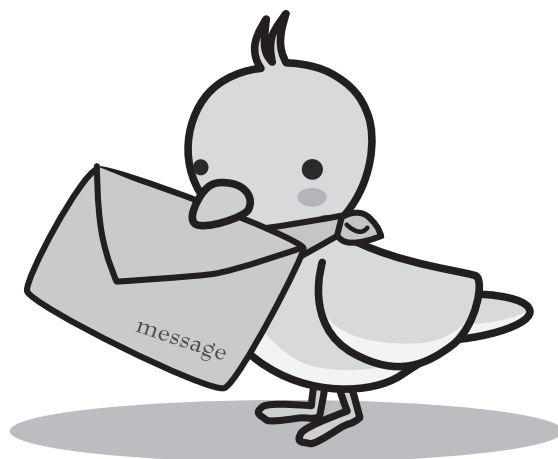
この頃のコロナ禍時代の不自由な日常の中で、手紙の上でのこととは言え此度のあなたとの出会いに、私は特別なものを感じ、充実したものを感じています。

どうも職業柄からくる気がかりなことをだらだらと書いてしまいました。余計なことも多々あったと思います。どうかご勘弁下さい。

御地はそろそろ雪の季節に入る頃だと思います。どうかくれぐれもあなたご自身も大事になさって下さい。いずれ又。

不一

今は彼からの返事を心待ちにしている。



ICT について思うこと

医療法人八重瀬会同仁病院 山内 裕樹



八重瀬会同仁病院整形外科の山内裕樹と申します。会員の皆様におかれましては昨今のコロナ禍の中、大変ご苦労なさっていることと思います。例外に漏れず小生も臨床業務のみならず、医師会によるコロナ対策業務に微力ながら携わらせて頂いております。会員各先生方の頑張りにはただただ頭の下がる思いでございます。今後ともご指導賜りたいと考えております。

外来にいらっしゃる患者様からは、「はっさ、こんなに太ったさーね。全部コロナのせいだはずよ!」…各先生方も外来で何度かこの台詞をお聞きになられているのではないのでしょうか。皆さま同様、小生も胸の奥底になにかモヤモヤしたものを抱えたまま、「だーるはず!全部コロナのせいだはずね!」と同調しています。何事もまずは肯定から始めることが大事だと思っ

てはいるのですが…いやいや悪いことはきっと全てコロナのせいですので皆様負けずに戦っていきましょう!

さて最近、「IT」や「ICT」といった言葉がさかんに聞かれるようになりました。釈迦に説法とは思いますが、ITとは「Information Technology」の略称になります。恥ずかしながら小生はつい最近までInternetのIだと思っておりました。コンピューターとネットワークを利用した技術の総称と考えられています。ICTはInformation and Communication Technologyとなり、ITに「コミュニケーション」が追加された表現です。皆様も同じ状況とは思いますが、小生の参加する会議やカンファレンス、また業者面談などもWebで行うのがスタンダードになっており、まさにICTのコミュニケーションが該当します。これまで会議や面談は、直接会ってface to faceで行う、というのが言

わば常識であった訳ですが、期せずしてコロナ禍をきっかけとして大きく状況が変わってきています。そして実際にweb conferenceで会議をやってみると、電波状況次第でやや進行遅滞することがありはしますが、大きな問題はないように感じています。こうなると遠方で行われる会議等はむしろ出席しやすくなり、便利な点も見えてきています。これまでの常識が完全に覆され、新しい価値観が創出されてきていると言えるのだと思います。一般企業においてはこの流れはもはや止めることはできないでしょう。2021年は教育分野でもオンラインが進んでおり、ICT元年とも言われています。我々もこの流れにある程度は順応し、共存していかなければいけないのだと思います。

また当科内での症例相談はグループLINEを使って画像を共有したり、方針を決定したりしています。骨折や疾患分類のカンペ片手に、上司に電話報告したり、カンファでプレゼンしたりして、叱責を受けながらご指導頂いていた私の研修医時代(かれこれ20年以上前になってしまいましたが)を考えると隔世の感がございます。また当科では以前から、Googleカレンダーを用いて各医師の手術や出張スケジュールを共有しており、研修医の先生方にとっては安心安全な医療を提供しやすい形になっていると思います。ICTの有効活用の一例と言えるでしょう。反面、研修医の先生方のプレゼンテーションや、骨折分類などの勉強の機会を減らす可能性もあると思われ、こちらは検討を要する点だと思います。

さて昨今の医療界では「ロボット手術」が普及しつつあります。一番名が売れていると思われるのはやはり「da Vinci (ダビンチ)」だ

と思います。本邦では2006年に初めて導入され、2012年に泌尿器科分野の前立腺手術に初めて保険適応がなされました。現在では泌尿器科だけではなく、産婦人科、消化器外科、循環器外科、呼吸器外科にも適応が拡大されています。また国産企業を中心として、より汎用性を高めたと言われる「Hinotori（火の鳥）」も販売され、ますますの普及が期待されます。整形外科分野におきましても人工関節手術アシストロボットの「Mako」というものが開発され、県内では初めて2020年6月に当院で導入しました。これは以前から整形外科分野で普及していたナビゲーション技術を用い、術前の患者のCTデータを利用して、ロボットに患者の骨の位置を3次元的に把握させます。実際の術野でレジストレーションの作業を行い、術野における骨の位置と、術前のCTデータからの骨の位置を整合させます。そのデータをもとに、骨切りの際にロボットアームがアシストしてくれる、というものです。実際の骨切り時には術者がロボットアームを把持し、骨を切ったり掘削したりします。角度は完全にロボットがコントロールします。またノコギリが骨を超えて軟部組織へ逸脱しようとするすると自動で停止します。これにより非常に安全かつ正確に人工関節手術ができるようになりました。人工股関節全置換術（THA）では、まずカップのリーミングに使用します。寛骨臼の位置をロボットが把握しながら、掘削方向を保持され、その向きに掘削していきます。掘削量もmm単位で表示されるため、掘削不足、過掘削ありません。骨掘削の後カップ挿入時もロボットアームがアシストし、術前計画の角度が保持された状態でカップをたいていきます。これもどれだけカップが入ったかがmm単位で表示されるため、挿入不足、過挿入のリスクも非常に低いです。当院の40例程度の検討では、カップの角度誤差が1度以内でした。THA経験2,000例以上の小生が、自分でやった時のカップ角度誤差は9割が3度以内であり、それと比べロボットは大変正確です。術後単純X線の見栄えは申し分なく、自分の今までの経験や努力を考えると軽く不快に

思う程です。人工膝関節全置換術（TKA）や人工膝関節単顆置換術（UKA）の場合は、骨を切る前にバランスを数値化することができ、その数字をもとに最適な骨切り量を決定することができます。骨を切る角度や量は全方向に0.5度、0.5mm単位で調整することができ、インプラント挿入後に予想されるバランスまで数値化して見るすることができます。そしてロボットのアシスト通りに骨を切り、インプラント設置を行い、再度バランスと見ると、骨を切る前の予想ギャップとほぼ同じ状態になります。骨切り後でも軟部は損傷することなくきれいに残っており、術後単純X線もちろん予定通りで、これまた軽い不快感を覚えるほどの正確さです。術中のレジストレーションや、骨を切る時の煩雑さはややありますが、これは慣れることで解決致しますし、患者へのメリットは非常に大きいことは間違いなく、今後はより一層普及していくと思います。「Mako」を使って行った人工関節術後の患者様は、早期歩行能力回復、また長期的な機能回復も良好です。おかげさまで当院でのMako手術は100件を超えまして、大変良いご評価を頂いております。

この「Mako」を使って手術をしているともう人間は要らないのではないかと、思ってしまうこともあります。術中のプラン変更や最終判断はやはり人間がすべき状況ですので、ロボットがさらに発達したとしても我々の仕事はまだありそうです。

このようにICT技術が発達してきて、手術を含め、いろいろなことが従来の形から変化していますが、その変化に人間も柔軟に対応していくがとても重要なのではないのでしょうか。ICTの方が優れている部分はうまく利用することで、人間はさらに上のレベルのことを行っていくだろうと予想されます。それをしっかりと理解して実行していくことで、より一層人間の良さを引き出せていけると思いますし、より一層高いレベルの結果を出すことができるでしょう。

ICTは、我々の生活や仕事と、もう切っても切れない技術となっています。ICTとの共存をうまくやっていくことが必要かもしれません。